

平成30年度 第2回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成30年5月15日(火) 10時28分～11時53分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，佐々木監事，早瀬副学長・全学教育機構長，板橋教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，渡理工学部長，有馬農学部長，山下附属病院長，山崎附属図書館長，宮武地域学歴史文化研究センター長

欠席者 なし

陪席者 小野学長補佐，山下学長補佐，倉岡学長補佐，豊田学長補佐，穴井学長補佐，宮脇学長補佐，岩本学長補佐，只木学長補佐，小林学長補佐，吉永学長補佐，永田海洋エネルギー研究センター長，高橋シンクロトン光応用研究センター副センター長（郭センター長代理），一ノ瀬肥前セラミック研究センター長，西郡IR室長

【 報告・連絡事項 】

(1) THE世界大学ランキング（日本版）の結果の詳細について

西郡IR室長から，本件について，分析結果のポイントとして，本学は分野ごとの順位から，国際性，次いで教育充実度に課題がみられる状況である旨，また，それぞれの分野に関する傾向及び今後に向けた対策について説明があった。

学長から，分析結果のポイントについて，各部局において，どのように改善の努力を進めればよいか確認があり，西郡IR室長から，他大学の取り組みで本学の参考になるもの等を踏まえて，より掘り下げた戦略を考える必要がある旨の発言があった。

全学教育機構長から，教育充実度には高校教員の評判調査という項目があるため，TOEIC 導入による英語力の向上等を各高校にアピールすべきである旨の発言があった。次いで，学長から，アドミッションセンターによる高校への発信について確認があり，西郡IR室長から，特任教員により年間260校を個別に訪問し，具体的なデータを提供している旨及び課題として，よりインパクトのある情報を揃える必要がある旨の発言があった。

(2) 教教分離後の会議の在り方について

後藤理事から，本件について，拡大役員懇談会におけるディスカッション

で明らかになった問題点とそれの解決に向けた方向性について、学系会議と学部教授会の審議事項の整理及び学部教授会の構成員を教授に限る方向での見直しについて説明があった。

理工学部長から、学部教授会にオブザーバーとして准教授等が参加して良いか確認があり、学長から、教授には責任をもって別の席で教授会の内容を准教授等に伝えていただきたいため、オブザーバーとしての参加も認めない旨の発言があった。

(3) 平成29年度就職等状況について

就職支援課長から、本件について、学部別就職率、課程・学科別就職率の説明があり、今年度ポイントアップした学科は学長ヒアリングでの執行部及び同窓会からの意見を念頭に学生指導が行われたことによると考えられる旨の報告があった。また、学部別地元就職率の説明があり、ポイントアップした農学部は就職講座にOB、OG、企業の人事担当者を招き、講演後に企業担当者と近い距離で話ができる場を設けたことによると考えられる旨の報告があった。

7月中旬から下旬に全学部を対象として、地元就職率向上のための取組みと現状、今後の課題について、未内定者等の今後のフォローアップについてヒアリングを実施する旨の報告があった。

(4) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

(1) 活動現況等について月例報告

各学部等から報告があった。

(2) その他

特になし。

【 その他 】

佐々木監事から、今年度の監査において、教教分離が機能しているかが重点課題になるため、各部局長には、教教分離がうまく機能するように理事と一体となって努めていただきたい旨の発言があった。

後藤理事から、本庄キャンパスの保健管理センターについて、平成30年4月からセンター長が佐藤センター長から木道センター長に変わったことを各部局において、周知徹底していただきたい旨の発言があった。

以上